

### 様式③-1

平成29年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

#### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		高速道路関連施設整備対策事業	二級水系員弁川水系砂出川	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	170070	道路企画課	高速道推進班	059-224-3016
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)		市町字名
	10	桑名・員弁 市部 一般		桑名市 志知
④事務事業名	高規格幹線道路等建設促進費			
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上			

#### 2 事業の概要

事業の概要				
設計調査	1式		事業採択	2009年度
遊砂池	1基		事業着工	2010年度
水路工	1,250m		事業完了	2017年度
法面工	7,300m <sup>2</sup>		供用開始	2018年度
舗装復旧	1式		全体計画事業費(億円)	24.889
			全体計画工期(年数)	9年
事業の目的				
本溪流の背後地は急峻であり、集落への土石流による山腹崩壊の危険性が高いため、早急に整備を行い溪流の保全を図る。また、当該溪流部を通過する高速道路の計画と整合を図り、高速道路事業と一体的に溪流整備を行う。				

#### 3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成28年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2015年度までの事業進捗率 99.2%	2016年度完了までの事業進捗率	100.0%
事業進捗率の算定式	[進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]		実施済み総事業費 (億円) 24.889
設計調査	1式	水路工	1,250m
遊砂池	1基	法面工	7,300m <sup>2</sup>

#### 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買取に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

#### 5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	